



永平寺町

第35号

平成26年9月5日 発行

議会だより

新体制スタート!!

「行動する議会」
「提案する議会」
「開かれた議会」

動き

新議会紹介

議長・副議長あいさつ
新議員 18名の抱負

②～⑤ページ

そこが聞きたい!

～6月定例会一般質問～

⑨ページ～

永平寺町議会
facebook

議会の新構成



議長・副議長就任ごあいさつ

行動(考え動く)する議会



議長 川崎 直文

行動(考え動く)する議会を目指して

新秋の候、町民の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃より町議会活動に深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、8月の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により議長の要職に就きました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを強く感じております。

議会は、民意吸収・監視・政策立案の役割を果たすため、取り組んでいる「開かれた議会」「行動考え動くする議会」「提案する議会」を更に推し進めなければなりません。

私は、議長として、永平寺町議会基本条例の積極的な実践を推し進めます。

具体的に、五つをとらえ注力して取り組みます。

身近な議会を目指します。

多くのご意見をいただける「議会と語ろう会」、読んでいただける「議会だより」を目指します。

事務事業評価、行革実施計画の進捗管理をさらに充実させます。

評価・審議の効率化、評価・審議の内容、効果の充実を図ります。

議会のIT化、情報発信を推進します。

議会自らの業務・事務の効率化を更に進めます。議会ホームページ、フェイスブックを充実させ、多くの町民の方に活用していただきます。

議会の機能を強化します。

自由討議の充実、委員会の適切な運営に努めます。

政治倫理の向上、議員定数の多面的な検討を進めます。

政治倫理の向上、品位の保持に努めます。議員定数・報酬は多面的に検討します。

議会基本条例の前文にある「自治体の自立に対応できる議会へと自らを改革しなければならぬ。議員一人ひとりが鮮明なる自覚をもって行動する議会を目指す」の意識のもと取り組まなければなりません。

改革への強い意欲・こだわり、継続の意志をしっかりと持ち、取り組みます。

今後も、皆様のなご一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 長岡千恵子

異なる視点で議会運営を補佐

このたび、改選後の議会の新構成において、議員各位の信任により副議長に就任させていただくことになりました。その責務を果たすために最善の努力をする所存です。

議長の五感とプラスアルファの視点の違う五感をフルに活用して町民の皆様の声を吸収し、議会運営や町政に反映していきたいと考えています。

女性らしい感性と視点で議長を補佐し、町民の皆様にはわかりやすい議会になるように努めていきます。

財政面では、合併による優遇も間もなく終了の時を迎えます。お金の使い方も慎重に検討をする時期です。無駄使いはできません。十分な議論ができる町民本意の議会にしていきたいと考えております。

平成26年 第4回 臨時議会報告

平成26年第4回永平寺町議会臨時会が、8月8日(金)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、新議長に川崎 直文 議員、副議長に長岡 千恵子 議員が選ばれ、委員会構成も一新しました。

また、永平寺町監査委員議員選出には、小畑 傅 議員が選任同意されました。

議長 川崎 直文

第4回臨時議会議案			
承認第7号 損害賠償の額を定めることの専決処分承認	承認	議案第32号 平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決
議案第31号 平成26年度一般会計補正予算	可決	議案第33号 監査委員の選任同意	同意

8月の新スタートのメンバーです

18人で頑張ります



上坂 久則

抱負…選良され、与えられた議員としての任期4年間、主権者は一人一人の町民。安心して住み続けられる町政、福祉向上、永平寺町ブランド創生のためNPO法人を創りたい。
趣味…読書。ジャズを聴きながら、パソコンを嗜み、読書三昧はこの世の天国。



滝波登喜男

抱負…お年寄りも子ども達も身障者も健康者も、この町に住んで、よかつたと思える町となるよう、福祉と教育の充実に力を注ぎます。ご意見・ご要望を受け賜ります。
趣味…音楽鑑賞・スポーツ観戦



長谷川治人

抱負…皆さんとの対話が基本。行政には、かゆい所に手が届くと云った優しさが求められます。私は42年間の行政経験を生かし、パイプ役として頑張ります。
趣味…空鉢がゴロゴロ、今では儂い「盆裁」なり。



朝井征一郎

抱負…町民の意見を聞き、安心して暮らせる町づくり、町の魅力を高めた活力ある豊かな町を目指して、笑顔のある町、永平寺町、禅の精神・禅の心を持ち少しでも町民の意思に沿った町づくりを実現するために全力をもって頑張ります。
趣味…旅行・ドライブ



酒井 要

抱負…一人でも多くの町民と面談し意見を聞きたい。また、障がい者や高齢者の住みよい環境づくりに努力していきます。町当局に理解してもらおう努力します。
趣味…県内外をぶらり一人旅
えち鉄、JRで日帰り旅行



江守 勲

抱負…町民の皆様からのご意見に耳を傾け、町民目線で現実を見つめ、将来を見据えた町づくりに、責任の持てる町議会議員として頑張っていきたい。
趣味…野球・ソフトボール・ゴルフ



小畑 傅

抱負…人口減少が進み財政の特例期間の終了が迫る中、まずは議員定数の見直しを行い、さらに福井国体対策など山積みする課題に、町民目線で取り組みます。
趣味…音楽鑑賞、スポーツなど



上田 誠

抱負…好きな言葉は「情熱とロマン」です。いくつになっても持ち続けるつもりです。「議会は住民のもの」を基本に皆さんの生活、福祉、子育て、教育を第一に「一意専心」頑張ります。
趣味…写真、家庭菜園など



金元 直栄

抱負…自らの目と考えを信じ、あきらめずにコツコツと町民の声を伝え続け、積み上げていくことが、住みやすい町づくりにつながるとの思いです。
趣味…写真、釣り、山歩きとぶらり旅



樂間 薫

抱負…今回挑戦した私の気持ちを忘れず、明るく強い永平寺町づくりの為に一歩でも先に進められるよう鋭意努力致します。
趣味…昔はコーラス
今は中国の古い町を訪問したい



齋藤 則男

抱負…これまでの経験を生かし、町でのいろいろな声を把握し、その心情をつかんで、その心で物事を考え、正しいことは主張し、町政に反映させ、一生懸命に尽くします。
趣味…「野菜づくり」に、挑戦、毎年一年生、何時になったら進級(卒業)できるやら。



伊藤 博夫

抱負…行政の管理職、地域の区長、議会での各委員長や議長として、五十六年間歴任してきた経験を生かし、後四十年間を議会内で裏表なく町発展のため頑張ります。
趣味…健康づくりの為、運動を趣味としております。



奥野 正司

抱負…人口減少と財政悪化を抑制し食止め①行財政改革②若者がU・Iターンする地域経済活性化施策③与える福祉から住民参加型地域参画福祉実現、に取組み。
趣味…読書・旅行・カラオケなどが、時間が無い。



中村勘太郎

抱負…私の消防時代ニツクネームは「ほんでいい!」です。初当選!初心を忘れず、とことん消防精神を発揮し、永平寺町の将来を見据えた議員として、頑張ります。
趣味…自然と同居、山・川・海・畑 友と楽しむ食!



川治 孝行

抱負…私は、若者達に夢と希望のある永平寺町をめざし、安全で安心して住める環境づくりと、町内の道路整備とスポーツの振興に努め活力ある永平寺町を目指します。
健康の源: バレーボール
心の安らぎ: 釣り



長岡千恵子

抱負…家庭を支えているのは女性の皆さんです。家計を守っているのも女性です。女性の方の意志を議会に届けます。気軽にお話を聞かせてください。
趣味…旅行(特に豪華客船での船旅)



多田 憲治

抱負…住みなれた地域を愛し、禅の心を敬愛し町民協働の活力ある町づくりに尽力を尽くしたい。特に活力の源である人口増対策に取り組みたい。
趣味…旅行(特に寺院めぐり)・戦国武将歴史読書



川崎 直文

抱負…誰もが安心して暮らせるまちを目指します。議会・行財政改革を推進します。現場・現状をしっかりと捉え、改めるべき事を明らかにし、刷新します。
趣味…鮎釣り

消防庁舎整備など

平成26年度
6月補正予算

総額 **11億3530万円**

当委員会に託された平成26年度一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、農業集落排水事業と区別会計補正予算、上水道事業会計補正予算の4件について、6月12・13日に審議しました。

一般会計予算は、当初予算が骨格予算であったため、今回の補正予算において政策的経費を計上、11億3530万5000円となりました。

主な事業は、消防救急デジタル無線、高機能指令センター整備や新消防庁舎建設費、臨時福祉給付金事業や子育て世帯臨時特別給付金事業などです。

子育て支援課
問 子育て世帯臨時特別給付金を支給されない方はどれくらいか。
答 消費税の引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するため臨時的に給付金を支給するもので、所得制限で60世帯の方が受けられない。

福祉保健課
問 若者出会い交流事業の実行委員会のメンバーは、また、今までの成果は。
答 商工会青年部を中心に、JAや社協等の職員で構成している。出合いの場づくりで、結ばれるには長い時間がかかる。他の例を参考にしている。

農林課
問 中山間地域における農業生産基盤等の整備を行うため農村振興基本計画を策定するが、その対象はどれくらいあるのか。また、地元負担金がかかってくるが、地元の了解を得ているのか。
答 全町で60ha以上あり、昨年度事前調査を行っている。地元の詳細は再度確認する。

学校教育課
問 教師の指導力向上支援事業で、福井大学教授から指導を受けるが、どのように行っているのか。
答 授業参観していただき指導や助言を受ける。指導力の向上を目指している。

商工観光課
問 ブランド戦略推進委員会設立の考え方は。
答 永平寺町のブランドの確立と情報発信の計画を作るもので、産業フェアも見直す。

建設課
問 福井の伝統的民家普及促進事業の対象数はどれくらいあるのか。
答 対象戸数138戸のうち34戸が県に登録済。現在までに7戸の改修工事に対して補助している。

総括
問 予算の中に占める委託料が多い。安易に業者委託するのはなく、職員の手で行えないか。
答 精査して不要なものは削る。

消防本部
問 役場職員による機能別団員の内容は。
答 新採用職員5名が機能別団員で、各分団所属の基本団員が9名。第二隊

企画財政課
問 ふるさと創造プロジェクト事業は、旧織物会館を中心とした地域で、観光誘客と地域活性化を図る事業であるが、文化的検証を行っているのか。
答 旧織物会館は大正様

企画財政課
問 3月に3階の書庫の雨漏りを発見。屋上を見たところシートがめくれていた。今後は建物管理を考えていきたい。
答

企画財政課
問 24年に作成した中期財政計画には、学校給食費無償化などの事業が入っていない。早期に財政計画を見直すように。
答

企画財政課
問 新消防庁舎は開発センターを囲むように建てられるため、土地利用や道路アクセスに問題がある。合併特例債のあるうちに、20年30年先を見越したしっかりしたものを建設すべきである。
答 この計画は既に議会の議決をいただいている。

企画財政課
問 松岡公園整備事業はどこまで行っているのか。
答

企画財政課
問 今年度は公園北側の

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

企画財政課
問

平成26年 第2回 臨時議会報告

平成26年第2回永平寺町議会臨時会は、4月25日（金）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

なお、永平寺町監査委員には、永平寺町鳴鹿山鹿 前川次夫氏が選任同意されました。 議長 伊藤 博夫

第2回臨時議会議案		承認第5号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認
承認第1号 平成25年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第21号 行政組織条例の全部改正	可決
承認第2号 平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第22号 行政組織の機構改革に伴う永平寺町関係条例の整備に関する条例	可決
承認第3号 平成25年度介護保険特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	議案第23号 永平寺開発センター耐震補強工事の請負契約締結	可決
承認第4号 税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	議案第24号 監査委員の選任同意	同意

平成26年 第3回 定例議会報告

平成26年第3回永平寺町議会定例会は、6月3日（火）～18日（水）まで16日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

議長 伊藤 博夫

第3回定例議会議案		議案第28号 平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算	可決
報告第1号 平成25年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	報告	議案第29号 平成26年度上水道事業会計補正予算	可決
報告第2号 平成26年度上水道事業会計予算繰越計算書の報告	報告	議案第30号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第25号 町長等の給与の特例に関する条例の制定	可決	発委第1号 第2次行政改革大綱実施計画(平成23～27年度)	可決
承認第6号 平成26年度後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分の承認	承認	平成25年度進捗状況審査結果申し入れ事項の提出	可決
議案第26号 平成26年度一般会計補正予算	可決	陳情第3号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書提出に関する陳情	採決
議案第27号 平成26年度介護保険特別会計補正予算	可決	発議第3号 日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書	可決

議案への賛否一覧

議席順に掲載	小畑	滝波	金元	齋藤	長岡	原田	川治	川崎	多田	上坂	長谷川	松川	渡邊	上田	酒井
議案第26号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等11件については全員賛成です。

総務課
問 集団登校中の児童の安全確保のため、最高速度30キロに規定する「ゾーン30」の区画線整備は、今後どの地区で実施するのか。
答 警察署が指定した、安全性が脅かされそうな通学路が対象。今回は御公領地区で実施する。

永平寺支所
問 永平寺支所の耐震補強はどこを行うのか。トイレの改修も行うのか。今後の利用計画は。
答 南側と北側を補強する。トイレ、議場の改修も行う。利用計画は今後示したい。

議案への賛否討論

問&答 そこが聞きたい!

6月
定例会
一般質問

15名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

問 消防の統合、これからどうなるのか

答 将来の消防広域化にも対応できる消防体制構



齋藤 則男 議員

問 消防署統合の概要は果たして本当に町民が理解をされているのか。庁舎が建設されることは何となくわかっているが、上志比の分署が廃止される。松岡からは移転し、無くならないのか、改めて詳しく説明をしていただきたい。
消防長 消防の一元化を図り、現在の消防力を低下させることなく初動態勢を強化し、職員効率の配置、また出動車両の必要人員の確保、救急時の救急救命士の確保等が可能となる。
それで、今回、議会のほうからご提言、ご指導されたので、再度7月に説明会を開催し、住民のご理解を得たいと考えている。

問 人口減、このまま減り続けるとうなるのか

答 永平寺町においても切実な問題

問 ここ近年の人口の減少が著しく、将来における労働力の不足や経済に及ぼす影響等、その対策についてはどのように考えているのか。10年後、そして20年後を見据えた町の将来予測は立てているのか。
町長 人口を減らさない、そしてこの永平寺町に住んでもらう、その効果を考えながらの政策を考えていきたい。



消防訓練

火災予防条例の一部改正成る

内容は、平成25年8月に発生した京都府福知山市での花火大会の火災を踏まえ、「火を使用する器具及びその使用に際し、火災の恐れのある器具の取扱いの基準に関する事項」。指定催しの規模に関しては、本町は店舗数が100以上としている。

議案第30号
永平寺町火災予防条例の一部を改正する条例の制定
……採決の結果、委員会全員賛成により可決
本会は、消防法施行令の一部を改正する政令が公布されたことから、永平寺町火災予防条例について所要の改正を行うもの。

陳情第3号
「日本政府に核兵器全面禁止のための決断と行動を求める意見書」提出に関する陳情について
……採決の結果、委員会全員賛成により採択

常任委員会報告

どうなる 学校教育と老人福祉

教育民生常任委員会
委員長 長岡千恵子

☆その他議案
1 教育委員会法の改正により教育委員会はどうなるのか。
いじめに関して首長が調査する権限を持つ。現状は、現行でうまくいっている。
2 将来的に学校の統廃合を視野に入れた

施策も考えておく必要があるのではないか。
・学校の統廃合についてある程度視野に入れる必要があるが、子どもを不安にさせる必要はない。
3 第6期介護保険計画策定にあたって、ニーズ調査を反映してほしい。
4 文化祭は3地区での開催を。
5 夏休みの短縮を保護者は要望していない。

議会と語るう会での 質問・要望等を提示

産業建設常任委員会
委員長 川治 孝行

質疑事項
1 産業フェアの有無について
2 町営住宅の未改修住宅について
3 中継の越坂付近の路線変更について
4 稲津―松岡線の供用開始について
5 担い手育成事業について
6 準都市指定による弊害について

7 永平寺参道について
8 農地・水保全管理での休耕田の利用について
9 光明寺の用排水整備工事について
10 区画線のビーズ採用について
11 バスループ建設について
右記等の質問・要望が議会と語るう会であり、今後の委員会の課題として取り組んでいきます。

議案第26号 平成26年度 一般会計補正予算について

反対討論 金元 直栄

今補正予算中、町民にとって必要な事柄は認められているが、本町の大きな課題である新消防本庁舎の建て方には幾つもの問題がある。私の立場は一般質問の通りで、反対の理由は、①永平寺口駅への新道とは全く関係のない建設計画。②永平寺支所の土地利用が著しく悪くなる。③築44年も経っている開発センターを一部利用し困んで建てることとは、消防士の訓練場確保も公民館の利用上も問題。④支所、センター、消防庁舎とつぎ足し建築は迷路性も生じ、防災の拠点としては異常。⑤町議会の議決は重いと言いますが、悪いと分かっているものを認めるということこそ問題で、議会の進め方にも大いに問題があったことを指摘して反対討論とする。

反対討論 松川 正樹

新消防庁舎建設費は認められない。この設計は現場の声が反映されていないし、後世に必ず悔いを残す。開発センターを残すにしても、L字型に囲む形では問題が大きすぎる。違う形を提案したが、時間がなく、にもならない。温泉や給食の無償化は、喜ぶ人もいるけど、この設計では誰も喜ばない。取り返しのつかないことになる。反対だ。

賛成討論 川崎 直文

①「消防救急デジタル無線等の整備」「新消防庁舎建設」は特別委員会で審議した。平成28年1月の業務開始をめざし着手。
②「ブランド戦略推進委員会事業」「公民館嘱託主事設置事業」等は、仕組み、取り組みをしっかりと構築し、直ちに取り組みむ。
③「臨時福祉」「子育て世帯臨時特例」の給付金事業は確実に給付。
以上、主な事業について捉え、提出の補正予算は妥当であり、賛成する。

賛成討論 原田 武紀

反対理由の主なものは「新消防庁舎の建設工事費」とのことだが、議会では重要案件であることから「消防署統合推進特別委員会」を設置、議論に議論を重ね、関連の開発センター耐震

問 福井国体運営経費の簡素化を

答 議会の意見も聞き決定していく



原田 武紀 議員

問 平成30年開催予定の福井国体で本町での開催競技は、ソフトボール、バスケットボール、ハンドボールの3競技で、松岡総合運動公園、永平寺緑の村ふれあいセンター、松岡中学校体育館、北陸電力体育館等を使用するとなっている。小中学生が全国レベルの競技や試合を間近に観戦できる波及効果もあり、「費用対効果」の議

論 は別にしても、小規模財政の町には3競技の運営は荷が重く、安受けしたのではと危惧している。町の財政負担はどのくらいになるのか。

生涯学習課長 施設の整備費は北電体育



昨年の国体の様子

館を除く3施設合計で町の負担は約3千万円、これにバスケットのアップ会場として松岡中第2体育館の建設費がプラスされ、この他に大きいのは競技の運営費で、仮設スタンドの設営等運営にか

問 本町のプロジェクト素案は、旧松岡村役場（現在の織物会館）の建て替えによる「松岡ルーツ館の整備」「多目的広場の設置」等であったが、その後計画の見直しはあったのか。

企画財政課長 県の事業ヒアリングの中で、新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道開通、中部縦貫自動車道の延伸等の交通アクセス向上に伴う観光面の事業拡充の指摘を受け素案の見直しを行った。その結果、26年度に実施計画、27、28年度事業実施に計画を一年延期することとした。

答 県から観光面拡充の指摘があった
「ふるさと創造事業」計画の見直しは

問 防災士資格認定者の普及を

答 他市町の動向見極め検討

問 ①防災士の仕事は。②国・県内の資格取得者の状況は。③永平寺町での普及の考えは。

総務課長 ①自助、共助、公助を原則としてその連携、充実に努めて、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動を行う。
②平成26年5月末日現在国内で78718名。うち県内728名。
③町内には現在10名が登録。資格取得に6万程度。敦賀市、越前市には補助制度あり。他市町の動向を見極めながら検討して

問 地域包括支援センターを行政直営に

答 場所を役場近辺で検討

問 県内の地域包括支援センターはどの程度民間委託しているのか。
福祉保健課長 直営の地域包括支援センターを持たないのは、本町と福井市の2市町。

問 役場が高齢者や障がい者の情報をいち早く把握するのは重要。高齢化が進むなかで地域包括支援センターを役場直営にできないのか。
町長 庁舎内に設置する事が必要と考えているが、庁舎内も場所が狭いので検討している。
福祉保健課長 直営にするには、有資格者の職員の確保が大前提。問題を解決していきながら、可能であれば直営に。利点や不都合な点を洗い出して検討していきたい。

問 永平寺口旧駅舎にAEDの設置を

答 新駅舎と相互利用を検討



AED講習会

問 ①今日迄の普及状況は。②今後の取り組みは。③各集落センター、コミュニティセンター等は避難所の拠点。AEDの設置を積極的に且つ計画的に設置すべきと考えるが④松岡駅・永平寺口駅（有人駅）の設置は事業者が設置するののか。⑤永平寺口駅旧駅舎は永平寺町に移管され利用は今後東古市まち協に委任。今後不特定多数の人が出入りする。ぜひ町に於いてAEDの設置を。

総務課長 ①公園、老人福祉センター、小中学校等に41ヶ所。医療機関、大本山永平寺等一般施設に14か所に設置されている。②ショッピングセンターやコンビニ等事業者に設置を促していく。③数が多い。自主防災組織等補助金の活用を考慮して頂きたい。④お見込みの通りだ。今後の課題として列車の中間の設置を検討していく。⑤えち鉄が新駅舎（有人駅）に取り付けることで相互利用も検討。

問 認知症予防にデジタル紙芝居の活用を

答 多方面に活用可能。前向きに検討

問 町の名所旧跡をデジタル映像にして、紙芝居仕立てのものを使って認知症の予防事業（回想法）に勝山市が取り組んでいる。デイサービスにきている人で、これまでに他人と話をしなかった人がデジタル紙芝居（回想法）によって昔話に花を咲かせ、他人との会話ができるという効果がある。本町でも独自で作成し、認知症の予防事業として展開するだけでなく、小学生向けに自分の住んでいる町を知る教材に、ブランド発信のツールとして利用できると思うが、どうか。



デジタル紙芝居実演

商工観光課長 観
問 勝山市観光協会はデジタル紙芝居の上映を本町でも取り組みたいとの意向を示している。福祉施設の門戸を開いてほしい。
福祉保健課長 回想法は脳の活性化になる。前向きに取り組んでいきたい。



長谷川治人 議員

センター、小中学校等に41ヶ所。医療機関、大本山永平寺等一般施設に14か所に設置されている。②ショッピングセンターやコンビニ等事業者に設置を促していく。③数が多い。自主防災組織等補助金の活用を考慮して頂きたい。④お見込みの通りだ。今後の課題として列車の中間の設置を検討していく。⑤えち鉄が新駅舎（有人駅）に取り付けることで相互利用も検討。



長岡千恵子 議員

問 町の名所旧跡をデジタル映像にして、紙芝居仕立てのものを使って認知症の予防事業（回想法）に勝山市が取り組んでいる。デイサービスにきている人で、これまでに他人と話をしなかった人がデジタル紙芝居（回想法）によって昔話に花を咲かせ、他人との会話ができるという効果がある。本町でも独自で作成し、認知症の予防事業として展開するだけでなく、小学生向けに自分の住んでいる町を知る教材に、ブランド発信のツールとして利用できると思うが、どうか。
町長 デジタル紙芝居はいろいろない方があると思うので、前向きに考えてほしい。

問 放課後児童クラブは移転せよ

答 対処するが時間が欲しい



松川 正樹 議員

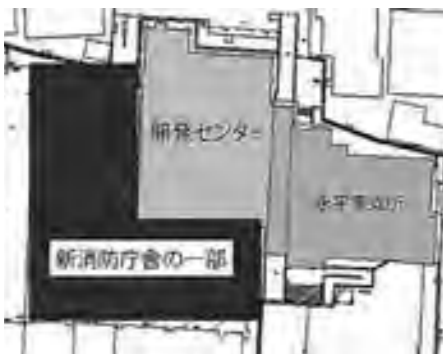
問 翠荘にある児童クラブは松岡小から遠い。歩いて通うにも安全面で問題がある。特に夏休み、朝から夜まで缶詰め状態で、プールにも行けない。ましてやPM2.5の問題も出てきた。緊急に松岡小近くに移転すべきだ。

町長 実際、翠荘の様子を見に行ったが、課題は感じる。公共施設の再編の中で考えていく。もう少し時間が欲しい。

問 適切な規模の宅地造成を急げ

答 地元のご理解と協力が重要

町長 宅地造成には、需要と供給のバランスがある。適正な値段で販売しなければ。地元の皆様にはしっかりと誠心誠意、頭を下げてご理解を得たい。



新消防庁舎 図形

新築の費用も、その後のぶん割高になる。3つの建物の合体では外観にも問題がありすぎる。駐車場も目に見えて減る。これらの課題を解決する建て方も提案したが、

【その他の質問】
「高志高附属中学校の対応策は」「永平寺町独自で教科書の採択ができるようになったか」

問 現況の信号機の見直しを

答 公安委員会へ継続して要望する



轟交差点

問 幹線道路の横断歩道に信号機が設置されている箇所は何ヶ所あるか。

総務課長 国道29箇所、県道19箇所。

問 交通量の変化により現在の信号機の見直しや検討の必要があるか。

総務課長 町としては見直しの検討は難しいが、交通量の変化から公安委員会に設置要望をしたい。

問 市内の交通形態が変化し、各地区から信号機の見直しを要望しているが、町内一円での事故対策として信号機の見直しを継続していききたい。

総務課長 道路管理者へ道路標示等の協議を進め、公安委員会へも信号機の設置に向けた要望活動を継続していききたい。

問 公安委員会に要望しているが、どのように対応しているか。

総務課長 昨年度で17倍の交通量の増加から、関係機関に安全・安心面での対応を求めている。

問 カーナビの更新、車の買い替え、行楽シーズンを迎え、交通量の増加が想定されるが、交通事故対策について伺う。

総務課長 道路管理者へ道路標示等の協議を進め、公安委員会へも信号機の設置に向けた要望活動を継続していききたい。



川治 孝行 議員

したが、どのように受け止めているか。

総務課長 昨年度で17倍の交通量の増加から、関係機関に安全・安心面での対応を求めている。

問 カーナビの更新、車の買い替え、行楽シーズンを迎え、交通量の増加が想定されるが、交通事故対策について伺う。

総務課長 道路管理者へ道路標示等の協議を進め、公安委員会へも信号機の設置に向けた要望活動を継続していききたい。

問 人口減少社会にどう対応するか

答 町民の声を聞き、最善策をとる

問 小学校は地域の歴史

教育長 国・県でも問題になっており、近いうちに学校規模の適正化基準を出す予定のようだ。現段階ではそれぞれの学校で特色のある教育をしているので、残していく方向に進めたいと思う。

問 総務省の人口推計では14歳以下の子どもが33年連続で減少を続け、総人口に占める割合は12・8%と主要国最低水準としている。要は人口減少社会を基本にした施策が要求される。今後の幼児園小中学校の再編、統廃合の考え方を聞きたい。

子育て支援課長 県内でも誇れる本町の子育て支援サービスは、今後とも継続していききたい。



国体会場となる松岡中学校体育館

福祉保健課長 本町4月1日住基台帳で高齢化率は27・5%で女性については既に30%を超えている。そこで来年度からの3ヶ年における第6期介護保険計画・老人福祉計画では、今後10年間の介護サービス等の見込みを行い、計画を策定する予定。



小畑 傅 議員

文化の拠点であり統合は難しいが、中学校は町の一体化の方策として同級生をつくることも必要と考える。3学年と生徒数も少なく2万人規模の本町ならば、統合・再編も将来可能と考える。逆に65歳以上の人口比率は4人に1人の老人社会に入っている。社会福祉・介護支援のあり方を聞きたい。

しが必要なのではないか。

総務課長 交通量や歩行者等から見て見直しは必要と思うが、地域住民のご理解やご意見を伺いながら今後対応していきたい。

問 信号機の設置は公安

委員会の権限だが、県内各地域に先駆けて永平寺町として信号機の見直しを働きかけてはどうか。

総務課長 公安委員会へは要望が年間100〜150基あるが、設置されるのは約10基である。今後とも信号機設置のため

問 公安委員会に要望しているが、どのように対応しているか。

総務課長 今後、公安委員会と協議したい。

問 福井国体バスケット会場サブ体育館は

答 議会とも相談し方向性を決める

問 平成30年開催の福井国体の本町会場は既に決出し、バスケットボール会場も松岡中学校体育館と決定したところとどうである。そんな中、バスケットボールの中央競技団体や県競技団体の要請を受け、サブ体育館建設にかかる調査費が25年度に議会の承認を得てお

問 新消防庁舎に大きな心配がある

答 いずれの心配も大丈夫

町長 平成30年開催の福井国体の本町会場は既に決出し、バスケットボール会場も松岡中学校体育館と決定したところとどうである。そんな中、バスケットボールの中央競技団体や県競技団体の要請を受け、サブ体育館建設にかかる調査費が25年度に議会の承認を得てお



上坂 久則 議員

問 介護制度見直しで 福祉サービスは

答 地域包括ケアシステムの構築を図る

問 地域医療・介護総合確保推進法案の成立で、町の福祉サービス（要支援1・2の廃止）はどのようなになるのか。

福祉保健課長 高齢者ができる限り、住み慣れた地域で暮らせるよう地域包括ケアシステムの構築を図り、在宅医療、介護の連携を図ることを目的として地域包括ケアの構築、又、今年度からは介護ではなくて医療制度の改革も始まっている。予防給付も町の実情に合った介護サービス提供になるとの認識である。

問 要支援者の実態について

福祉保健課長 本年4月現在、要支



福井大学医学部での検査風景

問 永平寺社協 包括支援センター主催の認知症の会議に参加したが、会議の報告からの所感は

福祉保健課長 介護・医療者等の連携により、個別事例に行政も係って対処したい。地域住民も交えた見守りが必要と考えられている。

問 認知症による徘徊者の対応として、家族の理解の下、情報が取れるシステムを構築すべきだ。

援者1は134名、要支援者2は68名、合計202名。利用内訳 訪問介護者21名、デイサービス利用者93名、リハビリ利用者等、総計170名越え

問 永平寺温泉の1年間の利用状況は

答 年間で8万5千人は超える

問 1年を経過して、町民や利用者の意見は。

福祉保健課長 一日平均約260人利用されるが脱衣場が狭いまた、利用者が多い時はロッカーの数が少ない等の苦情がある。

問 空き家対策にアクションを

答 対策マニュアルを検討する

問 町内の空き家数は。

建設課長 昨年3月末現在で廃屋48戸、一部破損69戸破損なし112戸の計229戸ある。

問 中には解体費も多額を必要とするので困っているのでは。条件を付けて検討する。

住民生活課長 他市町を参考に本町の空き家対策マニュアルを来年度に向けて検討する。



多田 憲治 議員

問 利用者が8万人あれば入湯税が640万円町に入る。現在各地区でサロン事業を行い充実しているが、これから増える認知症の予防も含め町の後期高齢者に限り温泉サロンとして100円ぐらい利用料金を割り引きする考えは。

福祉保健課長 3年間に限り町民は400円の料金で設定されているが、料金見直しの際、高齢者利用料金の据え置きを視野に入れ検討する。

問 山岳事故の救助体制は

答 県・警察と協力した救助体制で



渡邊 善春 議員

問 本町にも景色の良い山がいくつかあるが、山登りをしている熊に遭遇したり、足を捻挫したり、いろいろな事故に遭遇する。そのような事故があった場合の救助体制がどうなっているか。

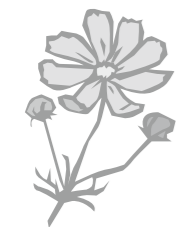
消防長 事故が



山岳救助

問 外からの来庁者また、職員が煙草を吸いながら敷地内にある姿を見て、なぜ庁舎敷地内に喫煙所がないのか疑問を持っている。

総務課長 喫煙については、健康増進法第25条の規定により、施設を管理する者は受動喫煙を防止するために必要な措置を



講じなければならぬとなつていて。職員の健康を守る観点からも禁煙の指導も合わせて喫煙については場所を指定していきたいと考えている。

問 本町にはたくさんの方の嘱託職員がいるが任期は一年の契約と思う。継続して勤務できるように体制を組めないか。

総務課長 嘱託職員の契約については、地方公務員法によって一年となつている。

問 教育委員会制度の見直し、中立性は守れるのか

答 町と教育委員会で常時連携

問 国の教育制度改革により、教育委員長の廃止、教育長に全権付与、任命権は首長とあるが中立性は守れるのか。

教育長 町長は教育委員会の取り組みを尊重すると言明。現在も町当局



との連携を常に考えており、心配には当たらないと考えている。

問 農業の合理化する為の水稲直播、特産品ピクニックコーン収穫を前に猟友会に要請したが、隣接地域また、警察署の許可も必要とし困難と聞くが、カラスの苦情は上志比地区以外の他地区ではないのか。

農林課長 自己管理しているので余り聞かないが、カラス駆除は爆竹ロケット花火等で追い払い、銃器により駆除で対応。

問 イノシシ等の獣害で他市町では牛、山羊を放牧して寄せ付けないと聞

くが。

農林課長 全国各地で実施されているが、放牧に際しては、臭い等周辺地域住民に理解して頂くことが重要である。地域・団体から要望があれば、紹介・相談に応じていきたい。

問 役場庁舎敷地内に喫煙所を

答 利用時間を決め設置する

発生すると県防災ヘリへ第一報をし、出動準備を要請する。消防本部は必要な資機材を装備し、初動態勢をとる。また、状況により職員の非番招集、消防団を招集、県警機動隊の要請も考慮し、救助、捜索活動に当たる。

問 嘱託職員の採用条件について

答 法により一年契約

問 待ったなし、認知症と高齢者対策

答 町が中心の体制を築きたい



金元 直栄 議員

問 認知症者が徘徊で年間1万人も行方不明に。徘徊時の事故に賠償命令も出て、大きな社会問題となつている。警察も全国の自治体と情報の共有等の指示をしたという。徘徊の行方不明は身近にも起きていますが、状況をつかんでいるのか。また、町の対応は！

福祉保健課長 昨年度、本町の要介護認定者での徘徊不明は、3件確認している。町にネットワークはなく、防犯隊等の出勤で、無事保護されている。

問 認知症者が徘徊で家族の心労は大変で、介護家族を支える町の施策を整えるべきだ。視察した市では、公的機関から美容院まで、約400店もがネットワークされ、一斉メール配信が可能という。本町との差は大きい、町の考えは。

福祉保健課長 町が中心となつて各種事業所をどのように連携していくのか検討しつつ、今後体制づくりをしていきたいと思う。

E D救急講習を受けていただきたいと思う。消防のほうでは普通救命講習が446名、総合計数で受講された方が3616

名になつていると聞いている。いつ何とき何が起るかわからないということ

考えながら、私たちも心がけていきたいと思つている。

問 町内の地区ごとに今の段階での到達や課題を町民に示すべきだ。公表することで歴史的な教訓も含め幅広く経験も知る

副町長 各地域や町全体の問題も含め、すべて議会に町民に知らせていく。

問 地区の課題は地区任せにしておくな

答 全て議会に公表…が町長の方針

問 町の消防本部庁舎を新しく建てるのなら、将来に禍根を残さない防災の拠点にふさわしいものにするべきだ。特に旧松岡からの移転となるが、松岡の住民が納得するものとするべきだ。計画の現状は、周辺の土地利用や新

町長 3月に就任後、じっくり考えたが、消防庁

問 新消防庁舎この計画で良いのか

答 議会での議決を重んじる

問 ネットワークの団体は実践部隊として担当の部門や地域や階層の中で具体的な活動が必要で、全体としての運動を位置づけるべきであるが。

民生生活課長 非常に重要な部署であり普及啓発活動をしている。

問 ネットワークの団体は実践部隊として担当の部門や地域や階層の中で具体的な活動が必要で、全体としての運動を位置づけるべきであるが。

民生生活課長 基本4項目を目標として取り組む。

民生生活課長 ネットワーク団体の発展は、今後の参画社会に大きな役割を果たすと考えている。

問 宣言都市としての展望を町民に対し明確にすべきであるが。

民生生活課長 ネットワーク団体の発展は、今後の参画社会に大きな役割を果たすと考えている。

【その他の質問】
「防災行政無線と連動するこしの国テレビ放送」



問 シルバー人材にAED講習を

答 設置施設での講習を行う



酒井 要 議員

問 障害者自立支援センターにNPO法人スマイルハートが活動しており、障がいを持つ子どもの指導をしている。夏休み期間はシルバー人材にお願いしている。シルバー人材にもAEDの使い方指導すべきではないか。

消防長 今できないと言ったのはシルバーの関係だと思ふ。公共施設で設置してある所はAEDを含めた救急講習を何回も行っている。普通救命講習Iといつて、3時間受けた方にはカードを交付する制度も町職員にやっている。シルバー人材で、保健センターに入

問 障がいを持つ子どもを預かり、何か起こった場合大変なことになる。早めの講習をやらなければ起こってからでは遅いことになるが。

消防長 シルバー人材が執行して子どもさんを見ていることは把握していなかった。シルバー人材のほうにも、AEDが設置してある施設にも講習を指導していく。

問 生活様式がどんどん変わつている。スマイルハートの状態も非常に抜けていたと思ふ。私ども行政に携わる者として町民の生命を守る義務があると思ふ。

町長 町民の皆さんもA



AED講習会

問 急げ！認知症にやさしい地域へ

答 認知症の検診や講座を実施する



上田 誠 議員

問 現在認知症高齢者の対策が急務となつている。早期発見、早期対応が重要。65歳以上の全員に対する計画的な施策（簡易検査）が必要と考えるが。

福祉保健課長 今後はサロンでの物忘れチェック、気づきのための広報、サポーター養成講座等を行う。

問 男女共同参画社会の進展と展望は

答 行政と町民が両輪となり推進する

問 推進計画の指針は①男女が共に生きる意識づくり。②活躍できる環境作り。③安らぐ生活づくり。④推進体制づくりである。町としての参画社会の明確な位置づけは。

町長 宣言都市として皆様の意見を聞き、血の通った取り組みをする。

問 推進委員会の役割と位置づけは頭脳集団、機関として立案、計画、目標設定が必要。実態は。

福祉保健課長 サロンや地域、また中学生にも考えて実施していく。

問 町の責任で支援体制が必要。地域でのケアアシテムの構築や支援センターの役割を明確化するべき。

福祉保健課長 支援専門員、初期集中支援チームの発足などを検討している。

問 住み慣れた地域や家庭環境で安心して暮らすために、認知症に対する正しい理解と不安や偏見をなくす施策（地域や家庭も含むサポーター養成講座）を全地域で必要と考えるが。

福祉保健課長 サロンや地域、また中学生にも考えて実施していく。



川崎 直文 議員

問 改定「町環境基本計画」の推進は

答 施策の事業主体を明確にし取り組む

問 今回の改定で、計画の推進体制をどのように強化したのか。

答 住民生活課長 これまで、施策の事業主体がどこにあるかが不明確であった。事業主体を町民・団体、事業者、行政に振り分け、どこが主にやっていくのか、また同時期に一緒にやっていくのかを明確にした。

問 「町環境基本計画」のPDCAは、いつ、誰が、どのようにやっていくのか。

答 住民生活課長 PDCAについては町の環境審議会並びに見直しに携わる環境基本計画改定委員会

問 「チーム永平寺町役場」をつくるには

答 ワーキンググループの取組みから

問 どのような施策、プロセスで「チーム永平寺町役場」をつくるのか。

答 町長 主査と主事からなるワーキンググループ(WG)が、今の永平寺町に何が必要なのかを考

る。WGで決めたことを課長の確認後、行動に移す。

もう一つは、各課横断的なプロジェクトチーム(PT)の設置。すでに情報発信、ブランド戦略のPTが機能している。

問 町民シンクタンクの構想は。

答 町長 町民の方に参加して頂き、経験、ノウハウを町政に反映して頂く。事業への参加、取組み内容の発信、振興会づくりの推進をして頂けたらと考える。

注※2「シンクタンク」諸分野に関する政策立案・政策提言を主たる業務とする研究機関



回覧、配布された永平寺町環境基本計画(改訂版)

問 緊急性を重視した事業選択を

答 大型事業は2~3年かけて

問 合併優遇措置の削減や消防新庁舎建設など大型事業により厳しい財政運営となる。歳入確保として、学校給食費の無償化や保育料の見直し。歳出削減として、必要性緊

問 在宅医療の課題は

答 医師、看護師不足

問 介護や医療は、施設や病院中心から地域や在宅で支える体制へ転換が図られている。そのためには、在宅医療の確立が急務である。現状と課題は。

答 福祉保健課長 診療報酬が在宅医療重視に転換され、大病院の医療体系は在宅医療中心に再編され始めた。地域では、在宅



医療、在宅ケア、在宅リハビリが重視される。しかし、医師不足、看護師不足であり、地域の医院や大病院とのタイアップを協議しなければならぬ。



滝波登喜男 議員

急性を重視しての事業の選択が重要。特に学校教育室のエアコン完備は急務である。

町長 給食費や保育料については、協議会を立ち上げ、町民の意見をいたしたい。子育て支援を重視しているので、慎重に検討したい。また、エアコン設置事業や大型事業は、2~3年かけて進めていかなければならない。現場を見て緊急性に配慮し、事業を進める。

問 道の駅、は地元と共存共栄を

答 禅の里と一体整備

問 道の駅の計画では、地元の活性化、共存共栄となるようにしなければならぬ。決して地域の商店に悪影響を及ぼさないように。

答 建設課長 道の駅検討委員会では、「旅の潤いとなる道の駅」をコンセプト

に、永平寺温泉禅の里とのアプローチ、利用者が短時間で体験できるプログラム等の提案があった。検討委員会の意見を踏まえて詳細設計を考えていきたい。

永平寺町は どんなふうになっているの 視察受入レポート

ホームページ・facebookに
随時更新中!

5/13 栃木県那須町議会 来町

栃木県那須町議会の総務常任委員会・議会運営委員会の方々が、「議会報告会(議会と語ろう会)」「ネット配信の現状」についての視察のため、来町しました。



5/14 鳥取県智頭町議会 来町

鳥取県智頭町議会の議会運営委員会の方々が、本町議会の議会改革「議会基本条例の運用」「議会報告会及び懇談会の実施」についての視察のため、来町しました。



ぜひ、傍聴にお越しください

9月定例会日程 (予定)

- [一般質問] 8日(月) 9日(火) 10日(水) いずれも10時~
- [予算決算常任委員会] 11日(木) 9時~
- [本会議] 17日(水) 10時~
- [予備日] 18日(木)

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁の西側の階段を上って、3階議場傍聴席にお越しください。

町の行政改革を視る!!

町が進めている計画について、5項目を提言

「行革実施計画」 申入れ事項を提出

議会行財政改革特別委員会
委員長 川崎 直文

「第2次行政改革大綱実施計画」の55の主要取組事項の平成25年度進捗報告を受け、以下を実施しました。

4月16日(水)

38の取組事項で82の質問を行政へ提出。

5月20日(火)

委員会にて行政の回答を受け審査する。

“平成25年度の進捗状況は、行政の評価と同等の8割の進捗”と評価する。

6月18日(水)

定例会で委員長報告として「申し入れ事項」を議長へ提出。同日、行政へ提出。

第2次行政改革大綱実施計画(平成23~27年度) 平成25年度進捗審査結果申し入れ事項

1. 行政が行っている事務事業評価の結果を、予算編成へ有効活用し、適時に、わかりやすく公表されたい。
2. 指定管理者制度の導入計画の推進が遅れている。各施設ごとにその方向性を明確にし、具体的施策を実施されたい。
3. 公共施設の耐震工事・補修工事は有効に行わなければならない。実施された現状調査の結果を基に集中協議を行い、公共施設の再編計画を前倒し早期に示されたい。
4. 定員管理は合併時の新町まちづくり計画との相違を明確にし、定員適正化計画、職員採用計画を示されたい。
5. 住民参画システムの確立で公募によるシンク Tanksの構想が示された。設立・活動の具体的なスケジュールに基づき展開されたい。



6月定例会終了後(6月18日)河合町長へ提出

編集者のひと言

7月に議会が改選を行い、議会広報特別委員会も新人議員3名を迎え、発足しました。メンバー6名と発行責任者として議長。合計7名で議会だよりに新風を吹き込み読んでいただけるような紙面作りにと張り切っています。

町民の皆様が議会だよりを手にとり読んでくださることを願っています。忌憚の無いご意見をお聞かせください。

(長岡 記)



議会
発行責任者
議長
川崎直文

委員会
委員長
副委員長
委員

長岡千恵子
岡 薫
長岡 薫
楽間 薫
江守 勲・上田 誠
金元 直栄・中村 勘太郎